



みかんぐみだより



2024年11月発行

尚徳福祉会 おぐら保育園

ますます深まる秋を感じながら、自然との触れ合いを楽しんでいる子どもたち。落ち葉を拾って集めたり、幼児クラスの掘ったサツマイモを触らせてもらったりと、秋の事象に遊びながら触れています。涼しい日が増え、園庭遊びが心地よく、外遊びを沢山取り入れてすごしています。



プチ散歩に行きました！

プチお散歩で園庭の周りの小道を歩きました。いつも見ている景色ですが、園から出るとワクワクの子どもたち。手をつないで歩きました。少しですが、お散歩気分で散策を楽しみました。

砂利道を歩いたり、外から保育園に向かって「やっほー」と手を振ったり、ニコニコのお散歩になりました。「ぼくのお家はどこかな？」「パパいるかなー？」等、可愛い発言もいっぱいでした。

室内遊び

指使いが器用になって来て、手先を使った遊びを楽しんでいます。最近、子どもたちがはまっているのは・・・パズルです。「せんせー！パズルしたい！」という声も聞こえてきます。最初は2ピースの大きいパズルから挑戦し、徐々にコツを掴んできて、ピース数を日々増やしています。パズルの絵を見て「救急車できた！」「でんしゃ！」と、完成品を嬉しそうに見ています。一つのパズルを二人で協力する姿もみられますよ。



秋まつり

秋まつり楽しかったですね。お父さん・お母さんと一緒にいる子どもたちは、とても嬉しそうで、園とはまた違った笑顔もたくさん見ることができ、私たちもとても嬉しく思いました。秋まつりへのご参加ありがとうございました。

おねがい

肌寒く感じられる日には上着を着て園庭遊びをしたいと思います。上着は汚れても良いもの、フードや紐がなく着脱しやすいものをご用意お願いいたします。園庭用上着のかごの中に入れていただき、靴やシートと共に週末にお持ち帰りください。

服を着たり、靴を履くことを自分でやってみようという気持ちが少しずつ大きくなってきました。子どもたちが自分で着脱しやすいよう、サイズは定期的に確認していただきますよう、よろしくお願いいたします。

